

糖尿病にみられる症状のいろいろ



糖尿病ではほとんどの人に症状がありません。症状がないからと安心してはられません。

糖尿病患者把握数 (将来、糖尿病になりやすい傾向がある人を含みます)

年次	年齢	～39歳	40～49	50～59	60～64	65～	計
昭和53年		16人	54人	98人	58人	91人	317人
54年		22	63	117	60	106	368
55年		22	80	124	84	119	429
56年		16	72	125	72	145	430
57年		18	69	150	87	154	478
58年		17	75	158	110	193	553

予防は発病のきっかけをつくらない

糖尿病の原因は、遺伝による生まれつきのものと後天的な影響によるものがあります。生まれつき、肥満などの後の後天的な原因が、肥満などの後の後天的な原因からインスリン不足となり、糖尿病になるといわれています。このほか、ストレスや精神的なショックを受けたとき、尿に糖が出ることもあり、神経系統も関係していると考えられます。

しかし、生活環境のなかで、きっかけをつくらなければ、発病を防ぐことができます。毎日の生活では次のことに気をつけ、糖尿病を予防しましょう。

- ：糖質、タンパク質、ビタミン、ミネラルなどをバランスよくとり、暴飲暴食を避ける
- ：適度な運動を継続的に励む

定期検査で糖尿病の早期発見を

新津市でも、糖尿病患者が増えています。上の表は、保健課で把握している患者数で、中高年の方に多いことがよくわかります。また、昨年の市民健診で血糖検査を受け、糖尿病と診断された人が三十九人、将来糖尿病になりやすい傾向があると診断された人が十九人いました。

特に、四十歳を過ぎたら年に一回は定期検査を受け、異常が見つかったら精密検査を受けましょう。

私たちの充実した毎日、病気を予防し、病気を克服するための正しい知識と日ごろの健康管理に支えられているといってもよいでしょう。

お買物、ご用命は市内で

グローバルホームからのお知らせ。

愛車にも法定点検があるように、お宅の住まいもフレッシュしてみませんか？……

新築から棚板一枚の取り付けまで、どんなことでもご相談下さい。



株式会社 グローバルホーム ☎4-8047 (滝谷本町 4-1-1 柳屋ビル)

2×4住宅設計施工・インテリアコーディネート・増改築工事・リフォーム

糖尿病患者が増えている

予防は正しい知識から—11月7日～13日は糖尿病週間



市では、毎年「糖尿病教室」を開き、糖尿病について知ってもらうとともに、食事療法などを指導しています。今年は10月から11月まで5回開かれ、糖尿病患者やその家族の方など30人が参加されています。



生命にかかわる病気の併発も

糖尿病は、早く発見し、正しい治療を受けていけば、それほど怖い病気ではありません。糖尿病の患者の多くは、適度な運動や食事摂取量(キロカロリー)を調整した食事療法を行うことによって、普通の人と全く同じように生活することもできます。

しかし、病気をしらないでいたり、治療を行わずにいたりすると、脳神経障害や視力障害、高血圧、糖尿病性腎臓病、心臓病など生命にかかわる病気を併発します。このほか、細菌に対する抵抗力が低下して、肺炎、糖尿病性敗血症などの感染症にもかかりやすくなります。そのため、注意が必要です。

三平の区のような症状のある人は、早めに医師に相談してください。

インスリンの作用が鈍ると糖尿病に

体を動かすために、私たちは食べ物に含まれるさまざまな栄養を利用して生きています。例えば、肉や魚のタンパク質で血と肉をつくる。米やパンに含まれる糖質から体を動かす力や熱を得る。などがありますが、糖尿病は、この力や熱となる糖質を利用することが困難になる病気です。

糖質は、胃や腸でブドウ糖に分解された後、グリコーゲンという物質になって肝臓に蓄えられます。そして必要に応じてブドウ糖に分解され、

血液に混じって体のすみずみに運ばれます。

この血液中のブドウ糖(血糖)を体の組織に力や熱として送り込む働きをするのが、すい臓から分泌されるインスリンというホルモンです。インスリンの作用が不足すると糖尿病になりますが、食事のとりすぎや、とまれば運動不足になりがちな生活パターンも糖尿病を招くといわれています。また精神的なストレスが、インスリンの分泌を妨げることもわかっています。毎日の生活に気をつけることが予防のうえで大切です。

「尿検査」から

定期的に尿・血糖検査を受けよう

糖尿病の検査に、糖負荷試験というのがあります。これは、ブドウ糖を飲み、その後一定時間ごとに血糖の濃度や、その推移を調べるものです。

糖尿病には、初期の自覚症状が全くありません。そこで、異常なしといわれている人も年に1回は尿検査を受け、境界型(将来糖尿病になりやすい傾向のある人)の人は定期的(年2回)に血糖検査を受けましょう。

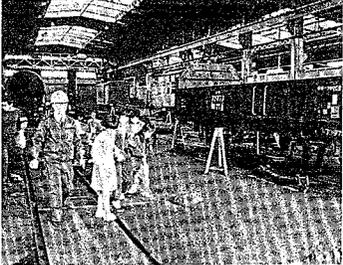
お買物、ご用命は市内で

慶弔用生花、生け花材料は
(株)川名花店へ
 本町3丁目 ☎3-1187(代)
 真心を花にたくして贈る店

内科・小児科・レントゲン科
大坂医院
 新町1丁目6-12 TEL(4)5122



記念展に約2400人が訪れた資料館



一般開放で賑った車両管理所

鉄道資料館開館1周年記念展は大盛況

鉄道資料館が10月14日で開館1周年を迎え、長崎屋新津店と鉄道資料館を会場に、10月5日から14日まで記念特別展が行われました。

長崎屋新津店では、5日から10日までの期間で、雪と開く国鉄や清水トンネルの今昔を伝える写真や列車の行先銘板などが展示されました。ちょうど長崎屋のオープンと重なり、会場は大盛況でした。また10日から14日は、鉄道資料館に会場を移し、入館者にSLを印刷した記念入館券と鉄道観光ポスターを配布したほか、小学生の鉄道図画展や模型車両の運転などが行われました。記念展期間中の入館者は約2,400人で、鉄道資料館開館以降の入館者は30,000人を突破しました。

このほか、13日と14日には、車両管理所の一般開放が行われました。車両の展示公開と銘板や解体車両の部品の展示即売会などが開かれ、訪れたマニアたちに喜ばれていました。